IRIS CLUB Information for our members

アイリスクラブ通信 虹

vol. 1
SPRING
2002

春の息吹き

いつのまにか
湖面をわたる風がやさしく
陽射しがやわらかくなった
グレーからパステルへ
いのちが芽吹く新しい季節
水鳥たちのさえずりも明るい
その水面に、もうすぐ桜が舞う

●創刊のごあいさつ
●COMMUNICATION ESSAY
ふれあい紀行 ――― 桜の小径
●HEALTHY CHECK
健康アドバイス ――― 花粉症対策
●FUNERAL NEWS
葬祭トピックス ――― 現代葬儀事情
●RELAXATION SPOT IN SHIGA
くつろぎスポット ――― 朽木の朝市
●FESTIVAL & EVENT GUIDE
湖国の歳時記と催しガイド
●PRESENT
ご愛読者プレゼント ――― 季節の花束（10名様）
お香（10名様）

PRESENT

ご愛読者プレゼント

チューリップの花束を10名様にプレゼント

●応募方法は中面をご覧ください。

創刊のごあいさつ

日頃は格別のお引き立てを賜り、誠に有難うございます。

"もっとあなたの身近なところへ" この言葉をスローガンとして、お客様のご葬儀・ご葬祭にかかわるコンサルティングや各種サービスをご提供する「アイリスクラブ」を昨年発足させましたところ、予想以上の反響とご賛同をいただき、お陰様で順調に今日に至っております。この度、「アイリスクラブ」会員のみなさまと私どもを結ぶコミュニケーション誌『虹』を創刊させていただきました。本誌がみなさまの暮らしの中でひとときのくつろぎとコミュニケーションの一助になれば幸いでございます。大きな時代変革の中で、変化する環境にともなった新しい対応が求められる葬祭業界。私たち公益社の葬祭事業はあくまでも人間の尊厳を追求し、よりいっそう豊かに人と人との「心」を結びあう儀礼文化の発信地と捉えております。これからも常に社会のニーズを先取りし、地域のみなさまにご安心とご満足のいただける、創造性を駆使した質の高いサービスをご提供してまいります。

どうか今後とも公益社ならびに「アイリスクラブ」に変わらぬご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役　木川英樹

IRIS(アイリス)は、菖蒲、いちはつ、花菖蒲などあやめ科の植物であることは一般に知られていますが、もうひとつ「虹色」とかギリシャ神話では「虹の女神」の意味をもっています。本誌「虹」はアイリスクラブにご入会いただいた会員のみなさま相互のコミュニケーション誌、私どもとみなさまを結ぶ架け橋として発行いたしております。

COMMUNICATION ESSAY [ふれあい紀行]

桜の小径

京都 白川・疎水べり

この度、公益社様とのご縁から本誌に文章を掲載させていただくことになりました。日常の中でふと心にとまったことなどを、小さなカメラで撮りとめた写真とともにご紹介させていただきます。

イマジネーション

街路樹も色鮮やかな葉を落とし、観光客も随分と減り始めたある日、病床から出た友人と白川辺りを歩いた。久し振りに会う友人は饒舌で、積もった話は尽きることなくいつの間にか相当の距離を歩いていた。表通りを外れ、疎水が横を流れる小径へと足を運ぶ。街のざわめきはなく人影はまばらである。舗装されていない土の道のところどころには木の根が浮き出し、路傍にある草花が私達に優しい。「綺麗でしょうねえ―」友人が唐突に言った。視線の先には何もなかった。それを理解したのは、友人の微笑んでいる表情を見た時だった。その時は枝のみの見事な桜の並木がそこにあった。

夕陽に染まる花霞み

それまでの雨が上がり、やわらかな陽射しが差しはじめた。その桜は夕陽に染まりながら花びらをこぼし、凛として咲いていた。秋が過ぎ冬になり、いま春が来てやがて夏が来る。自然は巡り、人にもまた四季がある。桜の花に友人の春を待つ。

さまざまな表情を見せてくれる桜の木、この小径の桜は疎水に影を映し、あくまでも清楚。澄みきった夕暮れの、すがすがしい空気の中で、遠くに虹が見えたような気がした。

いつか桜の小径を友人と二人で歩きたい―

文・写真　岡林 みゆき（エッセイスト）

■交通
京都駅から市バスで約35分、銀閣寺道下車

FUNERAL NEWS

葬祭トピックス

時代の変遷と共にご葬儀のあり方も変化し、内容も多種多様となってまいりました。伝統を重んじたものから時代を先取りしたものまで、最近のご葬儀の傾向などをご紹介してまいります。

「現代葬儀事情」

平成十年九月、「七人の侍」など多くの作品を生み出した映画監督「黒澤明」氏の葬儀「黒澤明お別れ会」が営まれました。会場は撮影に使用されたスタジオ。祭壇は「乱」のシーンをモチーフ、BGMには「夢」での賑やかな野辺送りの曲も流されました。式次第の基本はあくまでも献花とお別れの言葉のシンプルなものでした。

形式にとらわれないご葬儀が増えてきています。過去にタブーとされていた色の花で飾られた祭壇や、音楽が流れる中での献花など、斬新で自由なカタチのご葬儀は、ますます増加することが予測されますが、公益社では、ご葬儀本来の儀式としてのあり方をしっかりとふまえ、新しい発想と表現で展開してまいります。

黒澤明お別れ会：「乱」の「一の城・金の間」をモチーフにした祭壇

鈴木その子お別れ会：「美白」イメージで5万本の白花が彩る祭壇

●参考文献　「最新葬儀演出9」表現文化社／「フューネラルニュース」総合ユニコム

PRESENT

ご愛読者プレゼント

アイリスクラブ会員様に日頃の感謝の気持ちをこめ、「季節の花束」と「お香」を抽選で合計20名様にプレゼントいたします。

Aチューリップの花束（10名様）
Bルーム香（10名様）

■官製ハガキにご住所、ご氏名、ご年齢、お電話番号、メールアドレス(ある方)、ご希望の商品名（A又はB）　本誌についてのご意見ご感想をご記入の上、下記までご応募ください。
■締切り
平成14年4月10日（当日消印有効）
■当選された方にはプレゼントお渡し日・場所を直接ご連絡させていただくと共に、次号本誌上にて発表。
■ご応募先
彦根市西今町939番地　〒522-0054
株式会社 公益社
アイリスクラブ事務局　宛

HEALTH CHECK

ワンポイント 健康アドバイス

花粉症対策

さまざまな社会環境や生活習慣は私たちの健康を蝕んでいます。このコーナーはみなさまの健康管理にお役立ていただけるよう、症状ごとにその対策を簡単にご紹介します。

花粉症の代表はスギやヒノキですが、シラカバ、ハンノキ、ブタクサ、カモガヤなども原因となります。またタバコやストーブによる住環境汚染、車の排気ガスによる大気汚染なども症状を悪化させると言われています。花粉症を乗り切るにはどうすればいいのでしょうか？

医師の診断を受けましょう

花粉症とよく似た症状の他の病気もあります。また同じ花粉症でも花粉によって治療法が異なります。まず医師の診断を受けましょう。

花粉の飛散前から手を打つ

花粉の飛散する前に医師の診断を受け、薬を投与してもらいましょう。症状の重い方は飛散三ヶ月程前から二年間以上続ける減感作療法(免疫療法)が一般的です。

日常生活、住環境チェック

バランスのよい食生活が体力、免疫力を高めます。また風邪をひくと粘膜も弱ります。花粉の多い日は窓を閉め、適度に加湿すると花粉は落下して飛散を抑えます。外出から帰れば衣服をよく払いましょう。

メガネやマスクも忘れずに

外出時、花粉症用メガネやマスクは効果的です。抵抗がある方は普通のメガネ、マスクでも効果があります。生理食塩水での洗顔もお勧めです。

RELAXATION SPOT IN SHIGA

日帰りで行くくつろぎスポット

気軽に出かけられて、心も身体もリフレッシュできる近郊のリラクゼーションスポットをご紹介します。

「朽木の朝市」

清流の安曇川と緑豊かな自然に囲まれ、古くから若狭と京を結ぶ街道の宿場町として開けた朽木村。国道367号沿い道の駅「朽木新本陣」では毎日曜に朝市が開かれます。

絶品、鯖のなれずし

新鮮な野菜、手作りの産品、地元の人の笑顔が溢れる市。なかでも鯖のなれずしは絶品。他にも栃餅や鯖寿司がおすすめ。どれも丹精込めたふるさとの味がします。朝市から少し足をのばせば温泉、レストラン、テニスコート等のある「グリーンパーク想い出の森」があります。温泉に入り川魚料理に舌鼓。朽木は疲れた心身を癒してくれる現代の桃源郷と言えそう。

■交通
電車で：JR湖西線で安曇川下車、江若バスでおよそ30分朽木役場前下車すぐ
お車で：大津より国道161・477・367号で約1時間

●月	●名称	●開催日	●場所	●問合せ先	
3月	彦根城梅まつり	15～31	彦根城内	0749-23-0001	彦根観光協会
4月	山王祭	12～15	日吉大社	077-578-0009	日吉大社社務所
	八幡まつり	14・15	日牟礼八幡宮	0748-32-7003	近江八幡観光物産協会
	長浜曳山まつり	14～16	長浜八幡宮	0749-62-4111	長浜市商工観光課
	水口曳山祭	19・20	水口神社	0748-63-4068	水口町観光協会
	草津宿場まつり	28・29	草津宿本陣界隈	077-561-2351	草津市商工労政課
	油日まつり	1	油日神社	0748-88-2106	油日神社
5月	日野祭り	2・ 3	馬見岡綿向神社	0748-52-1211	日野観光協会
	篠田の花火	4	篠田神社	0748-32-7003	近江八幡観光物産協会
	七川祭り	4	大荒比古神社	0740-25-6464	新旭町観光協会
	八日市大凧祭り	第4日曜	愛知川河川敷	0748-24-5662	八日市市観光協会
6月	漏刻祭	10	近江神宮	077-522-3725	近江神宮

FESTIVAL & EVENT GUIDE

湖国の歳時記・催しガイド

●日程や内容は変更になる場合があります。また休館日等の場合がございます。お出かけ前には必ずご確認ください。

[滋賀県立近代美術館] 大津市 ☎077-543-211
●「新収蔵品を中心に」～4/29(祝)

[佐川美術館] 守山市 ☎077-585-7800
●佐藤忠良　粘土に時を刻んで
「佐藤忠良のとらえた女性たち」～3/31(日)

[MIHO MUSEUM] 信楽町 ☎0748-82-3411
●2002年春季特別展「永春文庫 細川家の名宝」4/6(土)～5/19(日)

[滋賀県立陶芸の森陶芸館] 信楽町 ☎0748-83-0909
●陶芸の森開設10周年記念事業収蔵品展
「陶芸の森10年の歩みII
滋賀ゆかりの陶芸・日本の現代陶芸」～3/31(日)
●生誕100年記念展特別企画展
20世紀からのメッセージ「ルーシー・リー～静寂の美へ」
4/6(土)～6/30(日)

[大津市歴史博物館] 大津市 ☎077-521-2100
●ミニ企画展関連講座「大津市の自治」3/23(土)

[滋賀県立安土城考古博物館] 安土町 ☎0748-46-2424
●春のお茶会　4/7(日)
●開館10周年記念春季特別展
「共に-女子を立て-卑弥呼政権の成立-」4/21(日)～6/2(日)
●特別展記念講演会　5/3(祝)
●体験博物館　5/5(日)・5/26(日)
●親子写生大会　5/11(土)
●博物館講座「平原王墓の意義」5/19(日)

[彦根城博物館] 彦根市 ☎0749-22-6100
●「彦根藩の砲術」～4/8(月)

[滋賀県立琵琶湖博物館] 草津市 ☎077-568-4811
●体験学習の日プログラム「ヨシ笛を作ろう」3/23(土)
●「湖(うみ)の十字路-野洲川平野の弥生・古墳時代-」3/20(水)~5/12(日)

[びわこホール] 大津市 ☎077-523-7136
●モーリス・ベジャールバレエ団「バレエ・フォー・ライフ」4/20(土)
●こどもの日コンサート「月猫えほん音楽会」5/5(祝)
●ボローニャ歌劇場びわ湖公演　ベッリーニ「清教徒」5/25(土)
●ボローニャ歌劇場びわ湖公演　ロッシーニ「セヴィリャの理髪師」5/26(日)
●ピナ・バウシュ&ヴッパタール舞踊団「炎のマズルカ」6/1(土)

もっとあなたの身近なところへ

公益社
アイリスクラブ

「アイリスクラブ」は高齢者が増加する社会環境の中で、避けることのできない通過儀礼であるお葬式にかかるさまざまな不安に対して、お客様の経済的・精神的負担を軽減することを目的とし、弊社の提供する葬儀・葬祭コンサルティング、セレモニー施行等の各種サービスを提供することにより会員のみなさまに、より豊かで安心のできる生活をサポートしてゆきたい。そんな願いから生まれました。

アイリスクラブの安心

ご葬儀基本料の割引や
お得なセットプランで経済的な
ご葬儀がとりおこなえます。

ご葬儀以外でもご利用できる
お得な各種割引特典でみなさまの
生活をサポートします。

入会金のみでOK。
年会費や月々の掛金は
一切不要。

事前にご入会いただければ
もしもの時、すぐに
ご利用いただけます。

新規会員ご紹介キャンペーン

「アイリスクラブ」をお友達にご紹介ください。お友達のご住所、お名前をご連絡いただければ詳しいパンフレットと入会申込書を送付させていただきます。お友達がご入会いただきますと、ご紹介いただいた方に素敵な記念品を差し上げます。

KŌEKISHA
アイリスクラブ事務局

みなさまの投稿をお待ちいたしております。エッセイ、健康法、くつろぎスポットをはじめご葬儀の想い出、エピソードなどなんでも結構です。
採用させていただいた方には記念品進呈。

電話 0120 FreeDial 0120-333-838 FAX. 0749-22-0042

滋賀県彦根市西今町939番地 株式会社 公益社 〒522-0054

公益社のホームページ http://www.shiga-koekisha.co.jp